



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL 072-261-1563
FAX 072-261-1594

2020年6月号 (2020.05.31 発行)

緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症に対する注意は、引き続き大切です。浜寺教会では、下記の基準に沿ってこれからの教会活動を進めていきたいと思っています。誰もが感染者になる可能性、すでに感染者である可能性があることを忘れずに行動いたしましょう。信仰のうちに、希望を失わず、弱い立場の人々に心を向けて過ごしましょう。

- 高齢者・病人・基礎疾患のある信者や、これらの人の介護や治療にあたる信者は、ミサに与る義務が免除されます。
- 本来信者はどこの教会に行くのも自由ですが、現状況下では、各小教区において、ミサに参加される方の人数を調整しております。通常行っている以外の教会に行くことは、お控えください。
- ミサ当日、自宅にて 熱を測ってきてください。熱のある方・風邪症状のある方など、体調がすぐれない方は、無理をしないでお休みください。ご家族に体調がすぐれない方がおられるときも同様に、ミサの参加をお控えください。
- 浜寺教会では
 - 1、主日のミサは、5月31日より6月中は、8時30分～10時30分、2回に分けます。7月以降は 決まり次第お知らせいたします。但し、第2日曜は、11時よりポ語ミサが行われるため、日本語ミサの 10時30分～信徒会館です。人数次第では、外でテント下になります。
 - 2、平日のミサは、毎週火曜日9時～です。
 - 3、換気のため、すべての窓・出入口は開放したままにします。空気を動かすために、天井に向けて扇風機を回します。室温によっては、クーラーも使用します。ご自分で調節できるよう上着などをご持参ください。
 - 4、ご自分専用のお水をご持参ください。熱中症対策です。ミサ後も教会より飲料水の提供はいたしません。
 - 5、必ず **マスクを着用** して下さい。忘れた方は係りの者にお声をかけてください。
 - 6、**< 教会へ来られたら・・・ >**
 - ① せっけんで手を洗ってください (トイレや信徒会館横の水道で・・・)
ご自分のハンカチをご用意ください。手拭用のペーパーは有りません。
 - ② 献金・・・ミサ中に堂内献金の箱は回しません。ミサ前に入れてください。担当者が奉納します。
 - ③ 配布物(リーフレット・浜っ子・時報など)・・・係りの者より受け取ってください
 - ④ **アルコールで手指消毒**をして 聖堂に入ります。
 - ⑤ 一人ひとりの間隔をとるようにして座ります。(カードで記しています)
 - 7、基本的には、自分の持ち物以外は、手を触れないようにします。
聖水盤は使用しません。
- < ミサ中は・・・ >**
 - 8、司祭との応答はすべて先唱者です。マイクの声にあわせて、声を出さずに心の中で祈ります。
聖歌は歌いません。聖歌集・祈りのカードも有りません。
 - 9、侍者・聖体奉仕者は立ちません。
 - 10、奉納の行列は ありません。ご聖体は、典礼にて準備いたします。(献金はミサ前に)
 - 11、平和のあいさつは、握手など 直接の接触は避けます。
 - 12、聖体を拝領する際は、ブロック別に、1列で 前の人との間隔をとって並びます。
 - 13、手でご聖体を受け、拝領するときだけマスクを外します。
 - 14、祝福を希望されている方には、直接触れずに頭上で按手されます。

< ミサ後... >

- 15、出入口が密にならないように気をつけて退堂します。案内に従ってください。
- 16、信徒会館などに集まって話をしたり、飲食を共にすることは避けてください。
- 17、各ミサ後、消毒作業や清掃を行います。指示に従いご協力ください。地区当番は有りません。
- 18、財務担当者は、ゴム手袋を着用します。

19、通夜・葬儀・病者訪問などは、司祭にご相談ください。

[2020.05.21 大阪大司教区 (措置・第8次) より]

ベトナム青年、ハーちゃん・チャンちゃん...帰国！！(2) 無事に帰国できました！！

チャンーちゃんのコメント... (2020.04.25)

おはようございます。皆さんはお元気ですか。皆さんがこの手紙を読んだ時、もうベトナムへ帰ってしまいました。新型コロナウイルスで、教会へ行けなくて、皆んなに会えなくて帰ってしまいました。

寂しいです。皆さんのような素敵な人に会えていつも運がいいと思います。

皆んなにありがとうと言いたいです。一年余いろんな良いことをしてくれて

本当にありがとうございます。

現在ベトナムの屯営に2週間ぐらい隔離しなければなりません、友達7人と一緒の部屋です。

ハーさんもいます。毎日お喋りしたり、ゲームをしたり、運動している。楽しいです。

まだコロナウイルスが拡大して、皆さんも気をつけてくださいね。楽しみの生活を送ってください。

皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

大変お世話になりました。本当にありがとうございます。🙏♀️🗨️チャンスがあったら、日本に戻ってまた会いましょう。ありがとうございます。



<< 「一杯の愛のお米プロジェクト」について >>

昨年、ベトナム青年の結婚式のために浜寺教会にお越しになったニャー神父様が協働する方々と立ち上げられた「一杯の愛のお米プロジェクト」の呼びかけが、イエズス会社会司牧センターを通じて、全国の教区で広がっています。大阪教区でも、このコロナウイルスの影響で失業したりして、日々の食べるものにさえ困っている、主に外国人の方々に送る食品を集めて郵送することになりました。ご寄付をよろしくお願いいたします。

お米、食用油、砂糖、インスタント食品、缶詰、レトルト食品、袋麺、カップ麺、調味料、
(食品は、賞味期限が1ヶ月以上先のものをお願いします。)
衛生用品(マスクや消毒薬など)など、
生鮮食品や衣類は受け付けできません。

現物を直接郵送される方は(Amazon等から直接購入、郵送していただいても大丈夫です。)

<宛先>

〒546-003

☎06-699-8733

大阪市 東住吉区 山坂町 5-11-21

聖母ハウス シスターTHAO 気付「一杯の愛のお米プロジェクト」宛

また、郵送料もかかるため、現金の寄付も受け付けています。

<現金振込先>

① 郵便振替

加入者名 : イエズス会社会司牧センター

口座番号 : 00140-4-94839

※ 通信欄に「おこめプロジェクト」とお書きください。

※ 郵便局の「青色の振替用紙」でお振込みください。

② 銀行振込

銀行名 : 三菱東京 UFJ 銀行

支店名 : 東京女子医大出張所

加入者名 : カトリックイエズスカイ

シヤカイシボクセンター

口座番号 : 0086058

浜寺教会でも受け付けます。(詳しくは三役までお尋ねください)
沢山の方々がお待ちです。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



イエズス会社会司牧センター スタッフ ヨセフ・グエン・タン・ニャー SJ より
2020年5月2日(5/13 更新)

「一杯の愛のお米プロジェクト」は、4月9日に発足しました。目黒教会のペトロマリア・グエン・フー・ヒエン神父と聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会のシスターマリア・レ・ティ・ランと私で立ち上げたプロジェクトです。4月から多くの方から「食料に困っている」や「仕事がなく、生活出来ない」というメッセージが入って来たからです。

愛徳姉妹会のシスターたちとイエズス会社会司牧センターで働いている私が窓口になっています。

当初、食品に困っている人々は少ないと思っていましたが、日本中から申請がたくさん来ています。私たちはベトナム人の共同体に呼びかけて、お米が余っている人々からお米を送って頂き、他の食品をたくさん持っている人々から食品を送って頂いています。もちろん現金を寄付してくれた方々もいます。お金を頂いて、足りていない食品を買って、準備して、困っている人々へ送ります。今までに送った一人分は、以下のような内容です。

- ・お米 5キロ
- ・揚げ油 1リットル
- ・ナンプラー 1リットル
- ・砂糖 1キロ
- ・ラーメン 5個
- ・マスク 2枚
- ・カップラーメン 2個
- ・お菓子や振りかけ など



分配・発送作業の様子

これらの食品を用意するために約5千円かかります。また、宅急便代は大体1,500円なので、合計すると一人分は約6,500円になります。

5月9日までに、全国に約2,000人分を送りましたが、現時点の申請者リストでは、まだ600人以上が送ってもらうのを待っている状態です。個人情報を守るために、このリストを見せることはできませんが、簡単に数えてみたところ、長崎教区や広島教区だけで80人、大阪教区は約100人、名古屋教区は110人、さいたま教区は50人、東京教区は80人などです。

私たちは最初、困っている人々は少なく、小さな規模で何とか出来ると思っていました。今、この状態になっているので、もっと多くの方々のご協力が必要だと分かってきました。

すでに、山口県にある下関労働教育センターの方々と細工教会のデイン神父(イエズス会)、大阪教区・仁川教会の和越敏[EmmanuelBinh]神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)、それに名古屋教区で働いているタン・ヒ神父(神言会)と若者たちの協力を求めています。これからも出来る範囲までやり続けたいと思っています。

どうかお祈りとご協力を頂ければ幸いです。

カテキズムの学び ～ウイルスとの戦いの中にあって～

酒井俊弘 補佐司教

新型コロナウイルスの感染はパンデミックとなり、多くの死者と経済的な打撃を与え、いまだ終息の見通しがたたないという不安が追い打ちをかけています。「これは神様からの罰なのでしょうか」という問いを耳にすることがあります。

旧約聖書のノアの大洪水では、そこに語られる全世界において、ノアの一家以外の人はずべて犠牲となりました。水が引いたあと、神様はノアに誓います。「二度と洪水によって肉なるものがごとく滅ぼされる

ことなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない」。(創世記 9・11) 自分が犯した罪に応じた罰を受けるのは、あくまで個人が、地上の生活を終えたのちに受ける審判の結果としてだけ。神様が人類全体を罰することなどありません。

カトリック教会のカテキズムは、病気についてこう説明しています。「病気と苦しみとは、常に人生を悩ますもっとも大きな問題の一つでした。人間は病気によって、自分の無力、限界、有限性を体験します。

病気はすべて、人に死をかいま見せます」(1500 番)。そして、病気からわたしたちが受け止めるものを分析します。「病気は場合によって、不安、閉鎖的な心、時には絶望や神に反抗する気持ちさえ抱かせます。

他方、病気は人の成熟を助け、自分の人生にとって本質的でないものを識別させ、人を本質的なものに向かわせます。また、病気が神の探求や神への復帰を促すことがしばしばあります。(1501 番)。

本質的なものに向かうことの一例、なぜ病気にかかるのか、なぜ苦しむのか、なぜ死ぬのか…。

突き詰めれば答えはひとつ。「生きているから」。いのちは自分で得たものではなく、与えられたもの。

体は両親から与えられ、「靈魂は、直接神によって創造された」(366 番)。病気にかかることが「<できる>、死ぬことが、そして永遠のいのちに入ることが<できる>のは、いのちを与えられたからだ」と、

感謝が浮かんでくるのです。

～カトリック時報 5 月号記事より～



6月の各種集いの案内 ……お休み

6月の主日ミサ担当一覧	浜寺 8:30 10:30	和泉 8:30 10:30	岸和田 8:30 10:30
7日 三位一体の主日	ベスコ	インターナショナルミサ 村田(評議会)	ジュアン(評議会)
14日 キリストの聖体	ジュアン(評議会) 11:00 ポ語 イツポリト	ベスコ	インターナショナルミサ 村田
21日 年間第12主日	村田	ジュアン 14時 ジュアン(英語)	ベスコ
28日 年間第13主日	ベスコ	ジュアン	村田 15時 村田(英語)

◇毎週土曜日 …… 19:30 主日前晩のミサ(和泉) ……**お休み**

◇平日のミサ 浜寺 : 火曜日(毎週) ……9:00

和泉 : 月曜日(毎週)……19:00

木曜日(第2, 4)……9:00…**お休み**

金曜日(毎月第1)……9:30

金曜日(毎月第1)……9:30

岸和田 : 木曜日(毎週)…… 9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日……11:00(浜寺) ……**Fr.イツポリトに変更**

◇英語ミサ 毎月第3日曜日……14:00(和泉) 毎月第4日曜日……15:00(岸和田)

◇インターナショナル ミサ 毎月第1日曜……(和泉) 第2日曜……(岸和田)

6月の奉仕者当番表 ……

ミサ時間が、毎週2回に決まり、当番される方がまだ決まっておられません。

これまでの担当者には、直接 ご連絡を差し上げています。が 更に新たなご協力者が必要となっています。

お手伝いしても良い…! と思ったださる方は 是非お知らせください。(三役又は典礼まで)

よろしく願い申し上げます。